

個人株主の皆さまにお届けする情報誌

NYK

plus

NYK プラス
2017 Spring

Vol.
21

[特集] モノ運び最前線・ビッグイベントを運ぶ
世界最高峰ヨットレースの物流を担当



海運・船員の魅力伝える活動を展開

船員出 前授業と造船所見学会を融合

当社は、未来を担っていく世代である子供たちやその保護者、ステークホルダーを含めた一般の皆様には海運業の役割や船員の仕事の魅力を知っていただく「郵船みらいプロジェクト」を展開し、海上勤務の経験を持つ社員が船や船員の魅力を発信する「出前授業」や船内見学会を開催しています。

2016年8月、当社のコンテナ船を建造中のジャパンマリンユナイテッド(株)(JMU)が広島県の呉工場で開催した造船所見学会と、当社の出前授業の共同イベントが、一般社団法人日本船主協会の協力も得て実現。2日間にわたるイベントに呉市の社会科の教職員と小学5年生の計約140人が参加しました。

現在JMU呉工場は、当社が運航するコンテナ船では過去最大の1万4000TEU型を連続建造しています。参加者は全長が約364メートルにもなる巨大なコンテナ船を艤装する様子や船体ブロックの製造などを造船所職員の説明を受けながら見学。その後、当

社社員がコンテナ船で運ぶ製品や海運の役割、船員の仕事などについて講義しました。

「子供たちには馴染みのない世界のため、できるだけ簡単に、身近なものとも比べながら説明するようにしています」と話す人事グループ海上人事チームの内山拓哉さん。教職員の方々には、より踏み込んで日本の海運業界の現状なども説明しました。参加した子供たちからは「船を造るのにたくさんのお金と時間がかかるのを知って驚いた」、「船の世界を知らなかったので、いろいろと知ることができてうれしかった」といった感想が寄せられました。

内山さんは航海士としての経験を生かし、郵船みらいプロジェクトを担当しています。「船員は世界を股にかかけ、大きな船を動かして人々の生活に欠かせない大切な貨物を輸送するやりがいのある仕事。その魅力を感じただけ多くの皆様に伝えていきたいです」。今後さまざまな機会を捉えて活動を広げていく予定です。



上/建造ドックでコンテナ船の大きさ体感
右/船員の仕事の魅力、やりがいを伝える



されるのは初めてで、ヤフオクドーム(福岡市中央区)前面の地行浜で参加6チームが白熱したレースを繰り広げました。(株)ジェネックはイベント関連の物流を手掛けるSound Moves(米国)、(株)ロックイットカーゴジャパンとの契約の下、レース関連貨物の輸入手続きから会場への搬入作業、レース終了後の搬出作業、輸出手続きまでを手掛けました。

前回大会が行われたフランスのトゥロンからレース参加全チームのレース艇(AC45カタマラン艇)6艇と設備・機材、レースを観戦するために集まったヨットと陸上の間で人を運ぶ支援艇1隻を輸送するプロジェクトで、貨物の総量はコン

国 際ヨットレース「アメリカズカップ・ワールドシリーズ」福岡大会が、2016年11月18日〜20日に福岡市中央区で開催されました。アジアで開催

世界最高峰ヨットレースの物流を担当



「アメリカズカップ・ワールドシリーズ」福岡大会

©ACEA 2016 | Photo Takefumi Tsutsui

モノ運び最前線
vol.20

ビッグ イベントを運ぶ

コンサート、スポーツ大会などのイベントでは多くの設備や機材が現地に運ばれ、国際的なイベントとなると海外から貨物がやってきます。当社グループの国際物流・港湾運送・海運会社、(株)ジェネック(本社=北九州市門司区)は、イベント・エンターテインメント関連の物流業務で多くの実績をもち、このほど福岡市で開催された国際ヨットレースの物流を担当しました。

テナ47本と大型トラック2台分にもなりました。現地調査からレース終了後に次の開催地に送り出すまで約半年を要し、輸出入手続きや特殊な作業・輸送のノウハウが要求される業務でしたが、(株)ジェネックの物流各部門の経験とチームワークによって全ての工程を安全に遂行しました。

2016年5月から現地調査、輸送スケジュール策定、輸出入手続きの準備を進め、レース用の設備・機材と支援艇は海上・航空輸送で、レース艇本体は海上輸送で10月末までに福岡に到着。海上コンテナ30本に収納したレース艇6艇に加えて、コンテナ型の修繕設備や、会場

開発グループ物流営業開発チーム長代理の加来太一さんは振り返ります。

イベント関連の物流で安全と共に気を使うのがスケジュール管理。イベントの期日が決まっているため輸送の遅れは絶対に許されません。海外のパートナーと綿密に打ち合わせを行い、こちらの考えを明確に伝える必要があります。

当日の大会が無事終了しても、(株)ジェネックの仕事はまだ終わりません。次のレース会場である米国にレース艇と設備・機材を送る業務に取り掛かります。「イベントが終わった後の物流業務も、準備と同じだけの労力と時間が掛かります。深夜から朝方にかけての作業にな

でレース風景を映す折り畳み式の大型ビジョン、無線機などのメディア用の機材を輸送しました。

博多港、福岡空港などに到着した貨物を、メイン会場の地行浜と各チームの基地が置かれた小戸ヨットハーバー(福岡市西区)まで輸送。コンテナは各チームが張るテントの支柱代わりになるため、決められた場所に寸分違わず置く必要があります。地行浜は一般の方々が憩いの場として使う砂浜のため、搬入作業中の安全にはより気を使います。「コンテナの据え付けではクレーンの取り回しのシミュレーションを事前に現場で何度も行いました」と(株)ジェネック物流営業

することも多いですが、貨物を送り出すまで安全に業務を遂行するのが私たちの務めです」と(株)ジェネック物流営業本部長の白水輝幸さんは話します。

当

社グループの(株)ジェネックは、北部九州を地盤に港湾運送事業、国際物流業、海運事業を展開してしまし

た。1990年代からイベント・エンターテインメント関連の物流業務を本格的に手掛けるようになり、「世界的なミュージシャンのドームツアーの多くをお手伝いさせていただきました」(白水本部長)。コンサートの他にもスポーツイベントやサーカス、非常に珍しい案件ではNASA(米国航空宇宙局)とJA



コンテナ型の設備を会場の駐車場に据え付け



折りたたむとコンテナ型になる大型ディスプレイ



レース会場内で人を運ぶ支援艇も輸送

無線などのメディア関連機材は航空便で輸送

興奮と感動の舞台裏で任務を確実に遂行

X A (宇宙航空研究開発機構) が共同開発した人工衛星を米国から種子島まで輸送しました。「たった1日のイベントで準備から輸送までに半年から1年、長いものでは2〜3年掛かることもあり、ます」(白水本部長) というのがこの仕事の特徴。また「イベントはどれだけ事前に打ち合わせをしても、当日になってスケジュールや必要なものが必ず変わります」(加来チーム長代理) という難しさもありますが、多くの経験から突然の変更にも慌てず対応できるよう備え

ています。「イベント関連の仕事は華々しく見え、浮足立つ雰囲気が出ても出てきますが、われわれが目立ってはいけない、最後まで気を抜かないということを常に心掛けています」(同)。

責任の重い仕事ですが、「世界的な大イベントに携わり成功した瞬間にはその一つの助けになっているという達成感があり、全社が一丸になれます」(白水本部長)。多くの人々を興奮、感動させるイベントの成功に役立てることは大きな喜びです。

美味しいデザートとともに特別な時間を
過ごしていただきたい



株式会社クルーズクラブ東京

あずまや
製菓課 東谷 なつきさん



アメリカズカップとは

1851年にロンドン万国博覧会の記念行事として開催されたヨットレースでアメリカチームが優勝したことに由来するヨットクラブ対抗レース。「海のF1」とも呼ばれる。参加チームは2年かけて「アメリカズカップ」への挑戦権を得るための予選シリーズ「アメリカズカップ・ワールドシリーズ」を世界で戦い、勝ち抜いたチームが挑戦チームとして前回大会優勝の防衛チームとの一騎打ちで優勝トロフィーを賭けて戦う。



現在、東谷さんは焼き菓子担当。「やけどすることもあります、その瞬間は作業に集中しているので痛みをあまり感じません」

※時期によってメニューは異なります



素敵な時間を過ごしていただけるように、一つ一つの作業も丁寧に心を込めます



お月見ディナークルーズでは、コース料理の最後に満月に見立てたデザートを提供しています*

■ザ・クルーズクラブ東京

当社の客船事業の一環として、天王洲アイルの運河沿いに面したレストランと“東京湾の貴婦人”と呼ばれるクルーズシップ“レディ クリスタル”を併せ持つ複合施設として1990年に開業しました。2016年4月に「クリスタル ヨット クラブ」から「ザ・クルーズクラブ東京」としてリニューアル。本格フレンチと東京湾クルーズを堪能できる魅力的なサービスを提供しています。



あずまや
東谷 なつきさん

パティスリーや結婚式場などでの勤務を経て、2014年5月に入社。本格的にパティシエを志望してからは専門学校にも1年通った。「仕事は体力勝負なので、休日はゆっくりして身体を休める日を必ず作ります。勉強もかねて、気になるお店のスイーツを食べに行くこともあります。」

お客様にベストの状態でご召し上がっていただけるような心配りを

東谷さんの業務を教えてください。

ザ・クルーズクラブ東京でパティシエとしてデザートを作っています。平日は基本的に2名体制で、ケーキの生地などの「焼き菓子担当」と、ムースやアイスクリームなどの「生菓子担当」で分担しています。陸上のレストランとクルージングを同時に営業しているので、それぞれの営業に備えて時間配分しながらデザートを作ります。材料の仕込みや船への積み込みなど、力仕事も多いですね。

パティシエになろうと思ったきっかけは。

中学生の時に初めてクッキーを作ったとき、家族や友達が喜んでくれて、それ以来、お菓子作りが趣味になりました。進路を決める際、地元(石手県)を離れたくない気持ちが強くなり、悩みましたがパティシエになる夢を叶えたくて思い切って上京しました。華やかな世界を想像していましたが、実際は予想以上に重労働で、体調を崩して一時期この仕事を離れました。でも、もう一回だけ挑戦してみようと、再び働きはじめました。その挫折を乗り越えて今、この仕事の楽しさや素晴らしさを実感しています。

船上でデザートを提供する際、気をつけることは。

お客様にベストの状態でご召し上がっていただけるように、サービス担当者と一緒に仕上げのタイミングなど工夫しています。また、船は揺れるので、デザートが崩れたりしないようメニューの段階でシェフが考慮しています。あとは、積み忘れがないように特に気をつけていますね。パーツ一つでも足りないとは大変なので、チェックは念入りに行います。

ザ・クルーズクラブ東京でおすすめのデザートは。

すべておすすめです。特に月一回、満月の日の夜に運航している「お月見ディナークルーズ」では、満月に見立てたデザートを提供していて、好評をいただいています。

今後の目標はありますか。

あめ細工、チョコレート細工、マジパン*人形などの「細工技術」をもっと勉強していきたいですね。また、お菓子教室を開いて、人にお菓子作りを教えたいという夢もあります。私自身が良い上司や先輩に恵まれて色々なことを教わってきたからこそ、そういう気持ちが生えたのかもしれないですね。

*マジパン=アーモンドをすりつぶし、砂糖などを混ぜて半円形状にしたお菓子材料。着色して動物などの形にしたものをケーキに装飾したり、表面に広げたりして利用します。

シンフォニー・クリエイティブ・ソリューションズ

当社グループは2016
イティブ・ソリューショ
ートアップ企業（新興
れまでにない物流に

年、パートナーと共にシンガポールで合弁会社「シンフォニー・クリエ
ンズ（SCS）」を設立しました。出資する各社が持つノウハウとスタ
会社、ベンチャー企業）のスピード感と創造性を融合することで、こ
関する問題解決サービスの開発を目指しています。



ことも理由です。
SCS社はシンガポールを拠点に事業
の企画を行い、物流サービスの開発は提携
するベトナムのシステムエンジニアリング
会社と共同で実施します。そこで開発した
プロトタイプを当社グループの世界各地
の物流現場で試験導入し、改善を繰り返
しながら完成度を高めていきます。当面はア
ジアが中心ですが、将来的には欧米を含め
たグローバル展開を視野に入れています。
SCS社の設立は当社が2014年7月
に完成車物流事業を開始した「シンフォニ
ープロジェクト」の延長線上にあります。
このプロジェクトは、当社グループで培っ
たサービスや知見に(株)構造計画研究所のデ
ータ分析技術、(株)ウエザーニュースの気象
予報技術などを組み合わせ、完成車物流の



多くの新興企業が入居する
「ブロック71」

シンガポール中心部の西側、チャンギ国
際空港から約22キロメートルのアヤラジャ
地区に、テクノロジー関連企業が集まる工
業団地があります。その一画の「ブロッ
ク71」と呼ばれる施設には起業を目指す東南
アジアの新興企業が多数入居しています。

新興企業の集積地で新たな物流サービスを開発

このブロック71で、当社グループは20
16年に(株)構造計画研究所、(株)ウエザー
ニュースと共に「シンフォニー・クリエイ
ティブ・ソリューションズ（SCS）」を設
立しました。

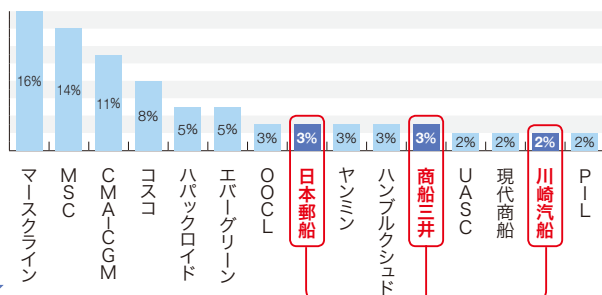
SCS社の設立地に東南アジアのスター
トアップ企業の聖地と呼ばれる「ブロッ
ク71」を選んだのは、新しい価値の創造を目
指す上で、起業家たちが互いに切磋琢磨し
ながら刺激を受けるといった環境が適して
いると考えたからです。また、入居企業を
シンガポール政府がサポートしていること
や、ブロック71に隣接するシンガポール国
立大学から学術的なサポートが得られる

新しいサービスの開発・提供を目指すもの
でした。これがベースとなり、当社グルー
プの社内起業を促す「きらり技術力育成フ
ォンド」が支援してSCS社が発足しまし
た。まずはアジアを中心に完成車物流分野
で新たなサービスの開発を目指していま
す。

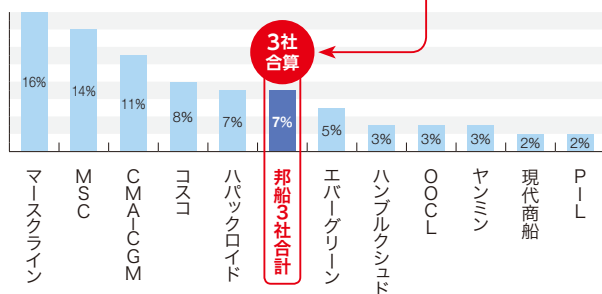


東南アジアの起業家たちが席を並べて
切磋琢磨する

現在の運航船腹量(2017年4月時点)



2018年4月時点運航船腹量(予想)



※マースクラインはハンブルクシュド買収で合意済み



定期コンテナ船事業統合 3社の力結集し、競争力強化

当社と川崎汽船、商船三井の3社は昨年10月末、定期コンテナ船事業の統合を発表しました。新会社は来年4月よりサービスを開始し、事業規模は業界第6位へと浮上。これまで各社が培ったベストプラクティスに規模のメリットを掛け合わせ、競争力を飛躍的に強化します。

当社を含む邦船大手3社は、総合海運会社としてタンカーや自動車船、LNG船など多くの船種を運航しており、コンテナ船もそうした事業の一つとして運営してきました。コンテナ船事業のみで見ると、当社の世界シェアは約3%、2017年4月時点では世界第11位となります。

一方で海外に目を向けると、こうした総合海運という形態を取る海運会社はむしろ少なく、特定の船種に特化して事業展開を行うのが一般的です。コンテナ船で言えば、マースクラインやMSCなどに代表される欧州系の会社がコンテナ専門船社として高いシェアを持ち、船の大型化や船隊拡充を先行して実行し、高い収益力を発揮してきました。当社を含む邦船3社は、規模こそ劣りますが、一方で効率的な事業運営に磨きをかけることでそのデメリットを補い、これまで大手船社と競ってきました。

しかし近年、大手のコンテナ専門船社は買収や合併などでその規模をますます拡大するようになってきており、それら船社とそれ以外の船社との規模の差が顕著になりつつあります。邦船3社としても、従来の規模のまま競争力を発揮することが難しくなってきたおり、強みである事業効率に加えて規模を拡大することの重要性が一層増しつつあったのです。

統合により、これまで3社がそれぞれ培ってきた知見を融合し、新たな相乗効果を創出します。これに、統合による規模のメリットを重ねることで、従来よりはるかに大きな競争力・収益力を発揮することができそうです。来年4月のサービス開始時点で、新合併会社の世界シェアは約7%となり、業界での順位は第6位と準大手の規模になります。これにより、高品質かつ競争力のあるサービスを提供して、お客様のニーズにより高いレベルで応えていきます。

美人画で彩るメニュー用紙



「大洋丸」 アロハディナーメニュー
1935年6月10日/竹久夢二画



「秩父丸」 明治節ディナーメニュー
1938年11月3日/竹久夢二画

戦前の客船のメニュー用紙は、さまざまな美しい絵柄で彩られていました。数十種類もの台紙を準備し、献立表は船内で印刷しました。台紙の絵柄は日本の四季折々の風物や、浮世絵の美人画、神社仏閣などがあり、中には美人画で一世を風靡した画家、竹久夢二の描いた絵柄も。情緒たっぷりのこの絵を採用したメニュー用紙は「秩父丸」をはじめとした豪華客船の1等船客用ディナーのテーブルを飾り、船客たちはメニュー用紙を話題に会話を弾ませることもあったようです。原画を描いた竹久夢二は1931年に「秩父丸」に乗ってアメリカへ渡っています。

日本郵船歴史博物館企画展

「日本が運んだニッポン—客船時代のメニューデザイン—」

戦前の日本郵船の客船メニューに印刷された「イメージ」を中心とするデザインを紹介する展示です。

会場/日本郵船歴史博物館(横浜市中区海岸通3-9)
会期/4月22日(土)~7月17日(月・祝)
時間/10時~17時(入館は16時30分まで)
休館/月曜日(7月17日(月・祝)は開館)
料金/一般400円、65歳以上・中高生250円、小学生以下無料
問い合わせ先/日本郵船歴史博物館 TEL 045-211-1923
<http://www.nyk.com/rekishu/>



海事用語 AtoZ

本誌の中でご紹介した
記事の中から、わかりにくい
専門用語を解説します。

【日本船主協会】

1ページ

日本の海運事業者団体で、100総トン以上の船舶を保有、運航する船舶運航会社、船舶保有会社(船主)から成る。会員数は124社(2017年4月1日時点)。海運業の公正かつ自由な事業活動を促進し、日本の海運の健全な発展に資することを目的とし、海運業に関する調査・研究や会員相互の意見交換を行うとともに、政府をはじめとした関係各方面に意見を開陳し諸問題の解決に努めている。

【船体ブロック】

1ページ

大型船の建造では船体をいくつかの「ブロック」に分けて工場内で製造し、ドック(船渠)と呼ばれる施設に搬入してクレーンなどを使って組み立てて溶接するブロック工法をとっている。1つのブロックは家一軒ほどの大きさになる。船体をすべてドック内で建造する従来の建造方式と比べて、工数の大幅な削減と工期の短縮が可能になり、日本造船業の戦後の飛躍的な発展に寄与した。

【艦装】

1ページ

造船所内のドックで組み立てられた船体は「進水」と呼ばれる作業で海上に移される。進水後の岸壁につながれた船体に、最終工程として電気系統やさまざまな設備を取り付けたり、内装工事を行うことを艦装という。この艦装工事の良し悪しで、船舶の最終的な品質や性能に大きな違いが出てくる。艦装を終えて完成した船舶は、造船所近くの海上で試運転を行い性能を確認してから、船主に引き渡される。

【完成車物流】

12ページ

自動車工場で製造され海外に輸出される完成車は「工場から港湾まで陸上輸送」、「港湾での船積み」、「海上輸送」、「輸出先の港湾で荷揚げ」、「一時保管・納車前の点検・整備」、「ディーラーまで陸上輸送」という流れで輸送される。コンテナ輸送とは異なり、完成車は梱包のない裸の状態では輸送されるため、輸送・保管中に傷がつかないように厳しい品質管理が求められる。

【総合海運会社】

13ページ

海運業と一口にいっても、コンテナ船、バルカー、タンカー、LNG船、LPG船、自動車専用船など、輸送する貨物によってさまざまな種類の船舶がある。海外の海運会社は1~2種類の船舶に特化した「専業海運会社」がほとんどだが、当社などの日本の大手海運会社はあらゆる種類の船舶を運航する「総合海運会社」という形態をとり、さまざまな産業の海上輸送ニーズに応えている。

■大阪発 瀬戸内 秋紀行クルーズ ●

Aコース 2017年10月3日 大阪発～7日 博多着 旅行代金 136,000～734,000円
Bコース 2017年10月3日 大阪発～5日 鹿児島着 旅行代金 75,000～404,000円
Cコース 2017年10月5日 鹿児島発～7日 博多着 旅行代金 75,000～404,000円

■博多発着 秋の連休 境港・隠岐クルーズ ●

2017年10月7日 博多発～10日 博多着 旅行代金 156,000～786,000円

■秋の博多・横浜クルーズA ●●

2017年10月10日 博多発～12日 横浜着 旅行代金 104,000～524,000円

■名古屋発 くるしお土佐・鹿児島クルーズ ●

2017年10月31日 名古屋発～11月2日 鹿児島着 旅行代金 73,000～367,000円

■秋の長崎・横浜クルーズ ●●

2017年11月6日 長崎発～8日 横浜着 旅行代金 104,000～524,000円

■錦秋の四日市・大阪クルーズ ●

2017年11月17日 横浜発～21日 横浜着 旅行代金 208,000～1,048,000円

■歌舞伎クルーズ

2017年11月21日 横浜発～23日 横浜着 旅行代金 115,000～565,000円

■南西諸島・台湾クルーズ ●●

Aコース 2017年11月27日 横浜発～12月9日 横浜着 旅行代金 748,000～2,200,000円
Bコース 2017年11月28日 神戸発～12月8日 神戸着 旅行代金 624,000～2,096,000円

■Xmas神戸ワンナイトクルーズB ●

2017年12月14日 神戸発～15日 神戸着 旅行代金 39,000～210,000円

■Xmas横浜ワンナイトクルーズC ●●

2017年12月20日 横浜発～21日 横浜着 旅行代金 42,000～210,000円

■Xmas横浜ワンナイトクルーズE ●

2017年12月24日 横浜発～25日 横浜着 旅行代金 52,000～262,000円

■2018年オセアニアグランドクルーズ

Aコース 2018年1月28日 横浜発～3月7日 横浜着
Bコース 2018年1月29日 神戸発～3月8日 神戸着

グランド特別割引適用後の旅行代金 1,540,000円～7,640,000円
旅行代金 1,925,000円～9,550,000円

※グランド特別割引旅行代金は2017年6月30日までに全額お支払いいただく場合に適用となります。そのほか、早期全額支払割引、早期申込割引の設定がございます。詳細はお問い合わせください。

■春の神戸・横浜クルーズ

2018年3月11日 神戸発～13日 横浜着 旅行代金 84,000～420,000円

■春うらら 熊野・四日市クルーズ

2018年3月13日 横浜発～16日 横浜着 旅行代金 117,000～590,000円

■陽春の土佐・薩摩クルーズ ●

2018年3月18日 横浜発～23日 横浜着 旅行代金 260,000～1,310,000円

下記の各種キャンペーンや割引などが設定されています。

- = 区間コース販売
- = アスカクラブ20%特別割引(※)
(Kステート、Sロイヤルスイートは対象外)
- = 船上クーポン2,000円付き
- = 2 for 1特別割引
(Sロイヤルスイートは対象外)
- = スイートトリプルキャンペーン
- = フリードリンクキャンペーン
- = A・Cスイート体験キャンペーン

※の割引を適用の場合、株主優待割引はご利用いただけません。ご了承ください。掲載のツアーは、この広告での申し込みを承っておりません。その他のツアー、割引などの詳細はパンフレットやホームページをご覧ください。

お問い合わせ



郵船クルーズ株式会社

TEL 045-640-5301
FAX 045-640-5366
http://www.asukacruise.co.jp/

(営業時間 / 9:30～17:00 土・日・祝を除く)

2018年グランドクルーズ 絶景の待つオセアニアへ



フィヨルドを通航する飛鳥II (撮影: 中村庸夫)

毎年恒例の飛鳥IIのグランドクルーズ。2018年は5年ぶりとなる「オセアニアグランドクルーズ」へと出発します。冬真つただ中の1月の日本から抜け出して、暖かな南半球へ。39日間かけ、オセアニアの数々の絶景を訪ねます。

美港・シドニーへの入港シーンや、迫力ある景観の世界遺産・ニュージーランドのフィヨルドなど見どころが満載です。シドニー寄港時にはオペラハウス内の劇場を貸し切り、国立オペラ歌劇団に所属する歌手たちによる特別オペリアコンサートへとご案内いたします。

ゲストシエフによる特別ディナーをはじめ、クルーズを彩る船内のイベントも目白押し。早めのご予約がお得な割引代金の設定もご用意しています。

\ plus /

NYKと競走馬のはなし

新馬戦が開催される6月は、競馬の新しい一年のはじまりと言われています。競走馬が海外遠征する際は、主に航空機が利用されます。当社グループの日本貨物航空も日本からの輸送を多く手掛けています。競争馬の健康管理は大変重要で、獣医師などが同乗して健康管理を行うほか、温度・空調管理、体を保護する装置をつけるなど、馬がけがをしったり体調を崩したりすることのないよう、万全の体制で輸送を行います。



日本郵船